

コミュニティソーシャルワーク パワーアップ セミナー 2024

コミュニティソーシャルワーク実践を
さらにパワーアップすることを目指して

8月30日(金) 13:30~16:45

31日(土) 10:30~15:00

主催 日本地域福祉研究所

於 大正大学 5号棟

ハイブリッド開催

(Zoom 併用)



コミュニティソーシャルワーク・パワーアップセミナー2024 開催要項

開催要旨

日本地域福祉研究所は、コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修システムを2004年に開発し、2005年度から全国の各都道府県社会福祉協議会などで実施してきた。以来、この養成研修の受講者は、4,500名を超えようとしている。また地方自治体における包括的支援体制の構築に向けた重層的支援体制整備事業が、2021年度から全国の自治体において実施されている。コミュニティソーシャルワーク実践は、地方自治体における包括的支援システムの構築を担う中核的なソーシャルワーク実践として位置づけられたと言えよう。

一方、地域社会においては、複合的な課題や制度の狭間問題、生活環境の脆弱化など多くの課題が広がり深刻化している。さらに今後、超高齢・少子化の進展や単身化・多死化社会の到来など、社会構造が大きく変化することにより、地域住民の生活上のニーズや地域における課題は大きく変化していくことが予測される。

本セミナーは、このような社会的な環境の変化に応じたコミュニティソーシャルワーク実践の質的向上と普及を図るために、全国の関係者が集い活発に討議することを通し、コミュニティソーシャルワーク実践が地域住民の期待に応え、さらにパワーアップすることを目的として開催することとする。

- **開催日時** 第一日目：2024年8月30日（金） 13:30～16:45
第二日目： 8月31日（土） 10:30～15:00
- **会場**： 大正大学 巣鴨キャンパス 5号館 5階 553教室
- **開催方法**： 対面とZOOMのオンラインによるハイブリッド方式
- **参加対象**： コミュニティソーシャルワーク実践に関する関係者、研究者・学生等
- **主催**： 特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所
- **後援**： 日本地域福祉学会（予定）
- **参加定員**： 会場参加者 50名、オンライン参加者 150名（申し込み先着順）
- **参加費**：

[個人]

・一般	2日間 5,000円	1日のみ 3,000円
・日本地域福祉研究所所員	2日間 4,000円	1日のみ 2,000円
・大学院生・学生	2日間 2,000円	1日のみ 1,000円

[団体参加]

・5名以内（オンライン参加のみ）	15,000円
------------------	---------

プログラム

8月30日(金)13:00~16:45

13:00	13:30	13:40	14:30	休憩	14:40 (休憩 16:10~20)	16:45	17:00
受付	開会	第Ⅰ部 基調講演			第Ⅱ部 シンポジウム	①豊島区民社協 ②所沢市社協 ③伊那市社協	

8月31日(土)10:30~15:00

10:30	11:00	11:30	12:00	休憩	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00
	11:00	11:30	12:00			13:30	14:00	14:30	15:00
重層的支援体制整備事業とコミュニティソーシャルワーク実践		新たな視点によるコミュニティソーシャルワークの展開			新たな視点によるコミュニティソーシャルワークの展開				
① 八王子市社協	② 遠野市社協	③ 氷見市社協			④ 新潟市社協	⑤ 浦添市社協	⑥ 海士町社協	⑦ (社福)天心会	

一日目：8月30日(金) 13:30~16:45

13:00~ 受付開始 / 13:30~ 開会

13:40~14:30 第Ⅰ部 基調講演

全体進行 原田正樹(日本福祉大学)

「コミュニティソーシャルワークの新たなステージに向けて」

—超少子・高齢社会における地域社会の変容とそのニーズに応えるために—

日本地域福祉研究所理事長・法政大学現代福祉学部教授 宮城 孝

14:30~14:40 休憩

14:40~16:45 第Ⅱ部 シンポジウム

進行 菱沼幹男(日本社会事業大学)

コメンテーター 加山弾(東洋大学)、越智和子(香川県琴平町社会福祉協議会会長)

趣旨説明(6分) / 実践報告(一人20分 質疑応答8分)

「地域の生活課題・ニーズに応える

コミュニティソーシャルワーク実践がパワーアップするために」

今後、日本の社会構造が大きく変化することにより、地域住民の生活上のニーズや地域における生活課題は大きく変化していくことが予測される。先進的なコミュニティソーシャルワーク実践の報告をもとに、今後のコミュニティソーシャルワーク実践がパワーアップするためには何が求められるかについて、参加者とともに討議する。

豊島区民社会福祉協議会 共生社会課長 田中慎吾氏

外国人比率が 11% を超え、コロナ禍における生活福祉資金特例貸付においては、生活に困窮した外国人が絶え間なく窓口を訪れた豊島区。これまで外国人が抱える地域生活課題に真に向き合えていなかったが、多様な主体と協働しながら取り組んできた包括的支援活動などの現在地について報告する。

埼玉県所沢市社会福祉協議会 企画総務課長 梅本晶絵氏

所沢市は人口約 34 万人。所沢市社会福祉協議会は多様な事業を展開しているが、2016 年度から全 11 行政区にコミュニティソーシャルワーカーを配置。効果的な支援を進めるための法人内における各種相談支援専門職との連携について、その取り組みと課題を報告する。

長野県伊那市社会福祉協議会 業務課長 矢澤秀樹氏

伊那市は人口約 6 万 5 千人、高齢化率 32%。2021 年に多機関協働モデルの取り組みから、制度福祉、地域福祉、まちづくりの融合拠点として、福祉まちづくりセンターを開設し、包括的な相談支援体制の構築を図っている。地域福祉コーディネーターの役割として、120 ヶ所の地域社会福祉協議会、82 ヶ所のまちの縁側と緩やかにつながり見守る場づくりと連携したアウトリーチ機能を高めている。

- 16:10～16:20 休憩
- 16:20～16:45 全体質疑応答・討議
- 16:45 一日目第Ⅱ部終了

17:00～ 情報交換会

二日目：8月31日（金）10:30～15:00

「コミュニティソーシャルワークの実践報告」（20分報告 10分質疑応答）

第Ⅰ部 テーマ「重層的支援体制整備事業とコミュニティソーシャルワーク実践」

進行 中島修（文京学院大学） コメンテーター 大島隆代（文教大学）

10:30～11:30

① 八王子市社会福祉協議会 支えあい推進課課長 大島和彦氏 10:30～11:00

福祉の総合相談窓口ー八王子まるごとサポートセンター（愛称：はちまるサポート）13 か所を重層事業の一環として受託運営している。重層事業におけるはちまるサポートの役割を紹介するとともに、個別支援に関し、コミュニティソーシャルワークがどのような効果をはたしてきたのかを、相談事例等を交えて報告する。

② 岩手県遠野市社会福祉協議会 地域福祉課主幹・包括化推進員 佐々木ひろみ氏 11:00～11:30

遠野市（人口約 24,000 人、高齢化率 42%）では、2022 年度から重層的支援体制整備事業が開始され、市独自の地区センター単位に「丸ごと相談員」が 9 名配置され、住民に身近な拠点で複合的な課題などの相談支援を行っている。また、つながる共有会議（市支援会議）、重層的支援会議、地域交流サロン「ちょボラ」などの取り組みも紹介したい。

第Ⅱ部 テーマ「新たな視点によるコミュニティソーシャルワークの展開」

11:30～12:00 第Ⅱ部(午前)

- ③ 富山県氷見市社会福祉協議会事務局次長 森脇俊二氏 11:30～12:00
- 本年元旦に発生した能登半島地震においていち早く被災地支援緊急募金によるファンドレイジングを開始し自主財源の確保に努めるとともに、「災害ボランティア・支えあいセンター」による被災者のニーズに応じた支援の取り組みを行っている。長期化する被災者支援と復興に向けた課題について提起する。

12:00～13:00 休憩

13:00～15:00 第Ⅱ部(午後)

進行 神山裕美 (大正大学)

コメンテーター 田中英樹 (日本医療大学)、島崎義弘 (今治市社会福祉協議会)

- ④ 新潟県新潟市社会福祉協議会 地域福祉課地域福祉係主査 田中理絵氏 13:00～13:30
- ひきこもり状態にあることについて「関係機関に相談したいと思わない」と考える人たちにどうアプローチするのかを検討する中で始まった新潟市社協での e スポーツ活用。“相談者”と“支援者”という関係性の脱構築への挑戦を紹介する。e スポーツを福祉分野で活用することによる協働企業や団体の意識変容にも注目。
- ⑤ 沖縄県浦添市社会福祉協議会 地域福祉課地域福祉 2 係係長 石原宏紀氏 13:30～14:00
- 沖縄県の県庁所在地である那覇市に隣接し、ベッドタウンとして発展してきた浦添市。浦添市社会福祉協議会では、平成 16 年度より県内初の取り組みとして CSW 事業開始。苦悩や葛藤しながらも 20 年かけて地域福祉実践を展開してきた。また、新たな取り組みとして生まれてきた「養蜂でひきこもり支援プロジェクト」や、高齢者の社会参加を目的とした「共同農園プロジェクト」等の福祉分野を越えた住民協働のプラットフォームづくりを紹介したい。
- ⑥ 島根県海士町社会福祉協議会事務局次長 片桐一彦氏 14:00～14:30
- 最近、NHK の新プロジェクト X で紹介された島根県隠岐諸島の海士町。その海士町社会福祉協議会では、東京から移住した 20 代の女性職員などが島に新しい風を吹かせている。高齢者の事業所を合併する等の最近の新たな取り組みなど、「ないものはない」島の社協の挑戦を紹介する。
- ⑦ 静岡県 社会福祉法人天心会 特別養護老人ホーム竜爪園 14:30～15:00
- 地域支援部長 コミュニティソーシャルワーカー 福貴 (ふっき) 稔氏
- 静岡市にある特別養護老人ホーム竜爪園では地域貢献事業にて専属の CSW を配置し圏域の制度の狭間にある方々への対応に取り組んでいる。他団体とも連携しこどもの居場所の活動など運営する中で、自身も静岡市 SSWr として法人とリンクさせた活動を行っている。社協以外の CSW との連携の可能性と課題について提起する。

15:00 閉会

■ 参加申し込みについて

参加申し込みは、下記の URL、QR コードから、グーグルフォームに記入していただきますようお願い致します。参加申し込みの締め切りは、8月10日(土)です。



<https://forms.gle/TksPYhQhmT7bXuPf7>

参加申し込みされた方に、メールにて参加費の納入先をお知らせいたします。参加費の納入締め切りは、8月20日(火)となります。参加費を納入された方に、当日の Zoom の URL と当日資料を送付いたします。

■ 問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

TEL: 03-5839-2799

URL: <http://www.jicw.jp/>

E-mail: jicsw@mx3.alpha-web.ne.jp

■ 会場アクセス

大正大学 巣鴨キャンパス

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1

最寄り駅から

- ・都営地下鉄三田線・・・西巣鴨駅下車 A3 出口 徒歩 2 分
- ・JR 埼京線・・・板橋駅東口下車 徒歩 10 分
- ・都電荒川線・・・庚申塚駅又は新庚申塚駅下車 徒歩 7 分

最寄りバス停から

都バス 堀割バス停下車徒歩 2 分